

～地域と連携して継続、広がりを見せる クリーンアップ作戦～ 「庄内浜クリーンアップ作戦」

酒田市立浜中小学校（第10回 環境美化教育優良校等表彰事業 特別賞受賞校）

浜中小学校は、日本有数の穀倉地帯である庄内平野が広がる酒田市の浜中地区にあります。浜中地区は、砂浜と黒松の防風林（砂防林）が連なっている場所であり、東北でも有数のメロンの産地としても知られています。

浜中小学校では、「メロン給食」として地元でとれたメロンを給食に出しており、児童たちもその日を楽しみにしています。

学校の近くにある浜中海岸を学習素材に総合学習を実践しており、地域住民と連携して昭和40年代から「庄内浜クリーンアップ作戦」と称して海岸清掃などに意欲的に取り組んでいます。



昭和40年代から継続して行っている庄内浜
クリーンアップ作戦



強い海風が吹き付ける中、児童たちは懸命に
ゴミを拾います

広がりを見せるクリーンアップ作戦

庄内浜クリーンアップ作戦は、毎年行われる学校行事として、全校児童で活動を展開しています。PTAの方々や地域住民、市の観光物産課の方々の協力を得ており、多くの参加者が庄内浜をきれいにしようと積極的に取り組んでいます。

また、地域住民や遊泳者に対して環境問題への意識を高めてもらうように、ごみ捨て禁止看板を作製しています。

この活動により、学校と地域が一体となって地域の環境について考え、海岸や地域のゴミを清掃する親子でのPTA活動や中学生との小中一貫ボランティア活動へと広がりを見せています。

平成13年度より、4年生を中心に進めている庄内浜の漂着物調査は、酒田海上保安部や県庄内総合支庁と連携して実践しています。ゴミを拾いながら砂浜に漂着したゴミの量や種類を調査します。



自然学習で飛島の漂着物調査も行いました

ゴミは、プラスチック片やペットボトル、流木が目立ったほか、漁網、タイヤなどもあり、児童は「何でこんなものが砂浜にあるのだろう」などと話し合いながらデータをとっていました。この活動を通してゴミの種類の多さに驚き、ゴミを捨てることは環境に良くないことだという気づきに繋がっています。また、この漂着物調査は酒田市にある離島、飛島でも行いました。

調査結果は、海上保安部で「漂着ゴミマップ」としてまとめられ、環境保全に向けた啓発活動に役立てられています。

このような庄内浜クリーンアップ作戦や漂着物調査活動は高く評価されており、平成18年度に海上保安部から「海上保安協力校」に指定されました。

浜中小学校では、誇りと夢を持つ子どもの育成を教育目標に掲げており、自分たちの住む地域を知り、暮らす人々の地域に対する思いに触れる活動を推進しています。児童たちの手で地域のためにできる環境美化活動を全校体制で積み上げてきています。



児童たちが自分たちでできることを考え働きかけることで地域の方々の環境美化に対する意識も高まっています

【学校情報】※平成22年1月現在 山形県酒田市立浜中小学校

◆住所

山形県酒田市浜中宇上村370-2

◆学校長：池田公夫

◆児童数：126名

◆創立：明治7年10月25日

